

平成29年度大学院説明会 (入学希望者向けガイダンス)

2016年5月21日(土)15:00-17:30

東京大学大学院医学系研究科

公共健康医学専攻

専攻長 川上憲人

kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

公衆衛生学とは

- “Public Health is the art and science of preventing disease, prolonging life and promoting physical and mental efficiency through the organized community efforts...” (組織された地域社会の努力を通して、疾病を予防し、生命を延長し、身体的、精神的機能の増進をはかる科学であり技術である)」 Winslow CEA *Science* 1920; 51(1306): 23-33.



“Protecting Health, Saving Lives, Millions at a Time” (健康を守り、命を救おう、たくさんの人を一度に)

米国Johns Hopkins公衆衛生大学院のホールのパネル

公共健康医学専攻の目的

本専攻は、国民や地域住民、患者も含めた広範な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質 (quality of life) の改善に寄与する最先端の研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人を養成する。本課程の修了者には、公衆衛生学修士 (専門職) が授与される。

求める学生像

- 国民や地域住民、患者も含めた広範な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質 (quality of life) の改善に寄与する最先端研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人として活躍できる人

研究・理論 × 実践力

公共健康医学専攻の特徴(歴史)

- ◆ 当該分野における東京大学の「強み」
- ◆ 日本最初の公衆衛生学講座
1947(昭和22)年設置
- ◆ 日本最初の保健学の大学院
1965(昭和40)年開設
- ◆ 大学院重点化
1995(平成7)年 社会医学専攻
1996(平成8)年 健康科学・看護学専攻
- ◆ 公衆衛生の専門職大学院(公衆衛生大学院)
2007(平成19)年 設置

教員組織の特徴

- ◆ 専任教員(現員)28人(実務家教員6人を含む)
- ◆ 疫学保健学系
数量的分析、コミュニケーション手法
- ◆ 行動社会医学系
行動科学、社会科学的方法論
- ◆ 医療科学系
制度、システム、情報の応用
- ◆ 協力講座
健康・環境医工学(疾患生命工学センター)
医療安全管理学(寄付講座)

公共健康医学専攻 (School of Public Health)

公共健康医学専攻
(専門職学位課程)

疫学保健学講座 (Epidemiology and Health Sciences)

生物統計学 (Biostatistics)

社会予防疫学 (Social and Preventive Epidemiology)

臨床疫学・経済学 (Health Economics and Epidemiology Research)

医療コミュニケーション学 (Health Communication)

がん疫学 Cancer Epidemiology

行動社会医学講座 (Behavioral Health Sciences)

精神保健学 (Mental Health)

健康教育・社会学 (Health Sociology and Health Education)

保健社会行動学 (Health and Social Behavior)

健康増進科学 (Health Promotion Science)

医療倫理学 (Biomedical Ethics)

保健医療人材育成学 Human Resource Development for Health

医療科学講座 (Health Services Sciences)

健康医療政策学 (Health Policy)

医療情報システム学 (Healthcare Informatics)

臨床情報工学 (Clinical Information Engineering)

法医学・医事法学 (Forensic Medicine and Medical Law)

保健医療科学 Pubic Health Science

(協力講座) 疾患生命工学センター・健康環境医工学

(協力講座) 東大病院寄付講座・医療安全管理学

東京大学医学部教育研究棟 (同棟13階にSPH講義室・学生控え室)



公共健康医学専攻の特徴(カリキュラム)

- ◆ 2年コースと1年コース(定員計30人)
実務経験者向けの1年コース
- ◆ 多様な科目
必修科目と選択科目の組合せ
- ◆ コースワーク・フィールドワークの重視
講義・演習・実習の組合せ
- ◆ 課題研究(2年コース)
教員による実務・研究指導

公共健康医学専攻の特徴(授業科目)

◆ 必修科目

疫学 「疫学研究と実践」or「医学研究のデザイン」

統計 「医学データの統計解析」

行動・社会科学 5教科から2科目選択

医療管理 2教科から選択

環境保健 「環境健康医学」

上記6科目(計11単位)を指定

公共健康医学専攻の特徴(授業科目)

◆ 選択科目

臨床疫学

保健医療経済学

医療コミュニケーション学

健康増進科学

医療安全管理学

健康危機管理学

など、必修科目とあわせて計34科目を用意

2016(平成28)年度スケジュール

- ◆ 4月 入学オリエンテーション、授業開始(S1,S2ターム)
- ◆ 5月 入学希望者向けガイダンス
- ◆ 8月 入学試験(2016年度入学者)
- ◆ 8~9月 夏季休業(集中授業、インターンシップ等)
- ◆ 9月後半~ 授業開始(A1、A2ターム)
- ◆ 12月 課題研究論文提出締切
- ◆ 1月 課題研究発表会
- ◆ 1月 キャリアデザイン懇談会
- ◆ 3月 春期インターンシップ
- ◆ 3月 SPHフォーラム、学位授与式

平成28年度公共健康医学専攻・授業予定表

S1	S2	夏季休業	A1	A2	W
4/5～6/3	6/6～8/1	8/2～9/20	9/26～11/18	11/21～1/26	1/27～
健康危機管理学 公共健康医学特論 保健医療人材育成学 医療コミュニケーション学 保健医療経済学 医療安全管理学 臨床医学概論 医学データの統計解析 医療倫理学Ⅰ 医療情報システム学	医学研究のデザイン 臨床疫学 医療コミュニケーション学 演習 医療情報システム学実 習 医学統計学演習 医療倫理学Ⅱ 公共健康情報学 Health Care and Community Health in Japan	インターン シップ、課 題研究な ど (集中講 義) 予防保 健の実践と 評価保健行 政・健康危 機管理学実 習 医療安全管 理学実習	環境健康医学 がん疫学 学習者評価学 健康増進科学 産業保健の理論と実 践 医学研究とCDISC標 準 社会と健康Ⅰ 健康社会学 公共健康情報学実 習 科学技術コミュニケーショ ン	医療技術評 価学演習 健康教育学 社会と健康Ⅱ	インター ンシップ 課題研 究など
法医学・医事法学 精神保健学Ⅰ 疫学研究と実践			健康医療政策学 精神保健学Ⅱ 医療経営学演習 臨床疫学・経済学演習		

この他、公共政策大学院、国際保健学専攻との合併科目。

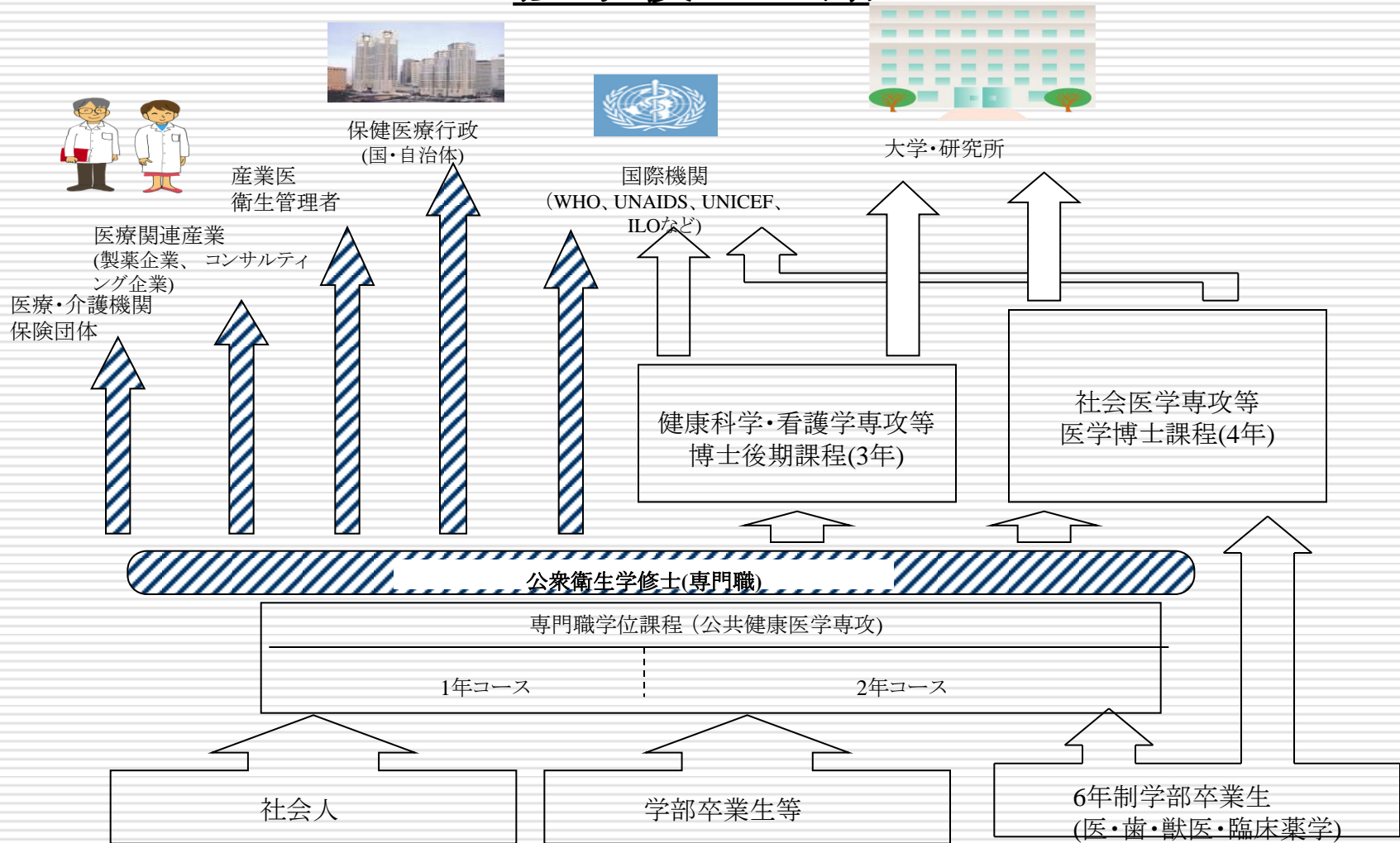
課題研究(2年コース必修)の評価

- ◆ 研究内容による分類(学生の自己申告)
- ◆ 区分: 原著、公衆衛生活動報告、システム開発、文献レビュー、その他
- ◆ 評価基準(以下の基準を総合して評価)
 1. テーマの新規性・独創性・実用性・有用性
 2. 論理的(科学的)な思考能力
 3. 方法(アプローチ)の妥当性
 4. 結論のimplication・テーマの発展性
 5. プレゼンテーション・質疑応答能力
 6. 本人の貢献度
 7. 文章・図表の完成度

課題研究のテーマの実例(2014年度)

- 病院に勤務する看護師の分布とその関連要因の検討
- 電子カルテデータベースからのLASSOロジスティック回帰による医薬品副作用シグナルの検出
- 止血術を要する扁桃摘出術後出血に対する、手術当日ステロイド全身投与のインパクト - DPCデータベースを用いた検討
- 自治体広報新聞のがん検診案内記事の適切性と説得性の評価
- がん第Ⅱ相臨床試験におけるアダプティブ2段階デザインの適用
- 日本人成人における食の外部化と地域食環境との関係

修了後の進路



修了者の進路（高度専門職業人）

- ◆ 公衆衛生行政、企業等の健康管理専門家
- ◆ 臨床研究・EBM、臨床試験の専門家
- ◆ シンクタンク、保険組織、NGO等の専門家
- ◆ 病院の医療経営・情報システムの専門家
- ◆ その他（博士課程、研究機関、国際機関など）

修了者の進路（2007-2015の実績）

2年コース154名、1年コース89名（計243名）修了

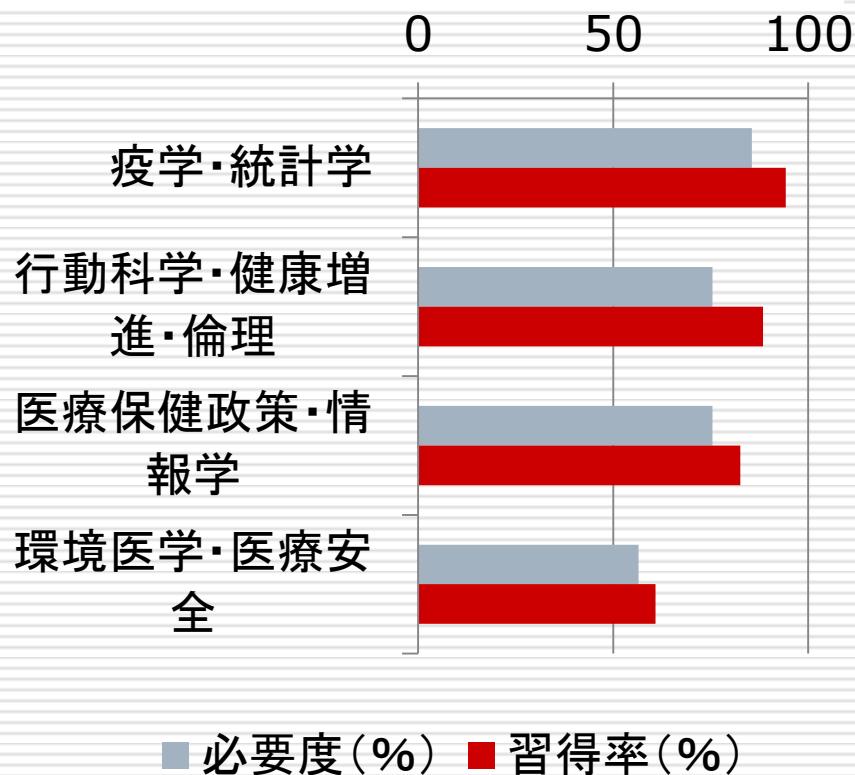
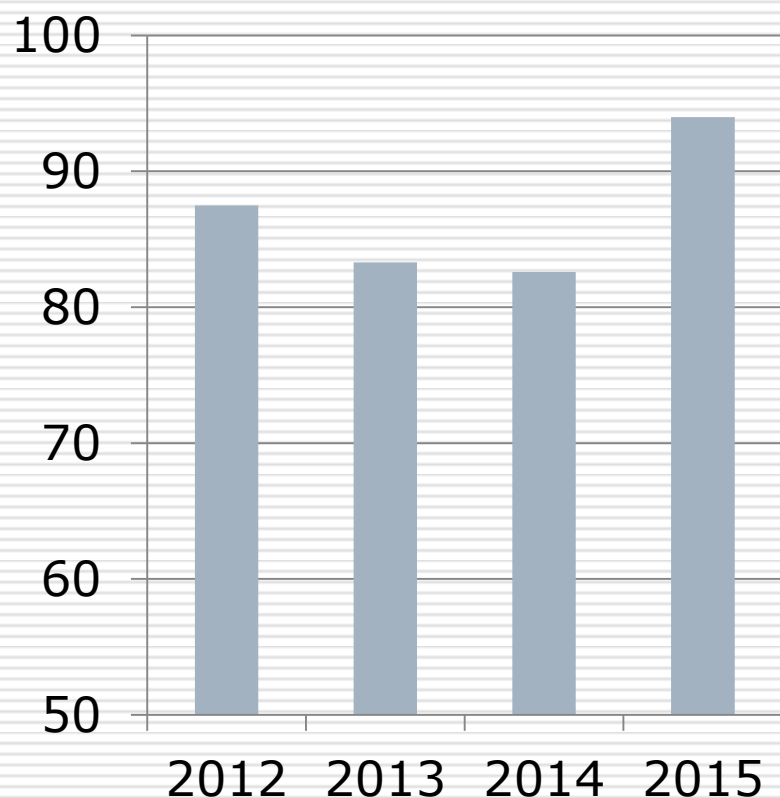
◆ 医療機関	26%
◆ 行政・独法・国連機関	11%
◆ NGO・シンクタンク・企業	18%
◆ 大学・研究所（教員・研究者）	10%
◆ 進学（博士課程）	35%

（未回答、その他を除く集計）

修了生による教育の評価

もう一度、入学前の状態に戻り、大学院に進学するとしたら第1希望で志望する(%)*

修了後の専門知識の必要度と習得率(2015年全修了生調査への96名の回答)



* 毎年度の修了時のアンケートによる。

公共健康医学専攻と関連した博士課程

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学大学院
健康科学・看護学専攻

2016年度 大学院生募集

●入試説明会
2015年5月9日(土)13時~15時
東京大学医学部鉄門記念講堂
※事前申込み不要
※終了後、各分野個別説明会あり

●研究分野
成人看護学 緩和ケア看護学 家族看護学
精神看護学 地域看護学 行政看護学
母性看護学・助産学 看護管理学
看護体系・機能学 老年看護学

願書締め切り:平成29年1月4-6日

入学試験:平成29年1月26日、2月2日

東京大学大学院医学系研究科
社会医学専攻
医学博士課程 入試説明会

平成28年度入学希望者向け社会医学専攻医学博士課程の入試説明会を開催いたします。ご関心のある方は、この機会にご参加ください。

日時:平成27年5月30日(土)13時~14時半
場所:東京大学医学部教育研究棟14F鉄門記念講堂(予定)
専攻及び各分野の簡単な紹介と説明の後、個別に質疑応答を行います。

分子予防医学分野	松島 綱治
公衆衛生学分野	小林 康毅
法医学分野	岩瀬 博太郎
医療情報経済学分野	大江 和彦
健康環境医工学分野	(予定)
医療コミュニケーション学分野	木内 貴弘
臨床情報工学分野	小山 博史
臨床疫学・経済学分野	康永 秀生
社会予防疫学分野	佐々木 敏
精神保健学分野	川上 憲人
保健社会行動学分野	橋本 英樹・近藤尚己
健康増進科学分野	李 廷秀
医療倫理学分野	瀧本 禎之
がん政策科学分野	東 尚弘

願書締め切り:平成28年7月25日~29日

入学試験:10月13~14日

東京大学公共健康医学専攻が行う 国際共同研究： 12カ国と25のプロジェクト



ソウル大学、北京大学との3大学交流



PeSeTo公衆衛生大学院会議・シンポジウム
(2008, 2009, 2011, 2013, 2014, 2016年)

他の海外公衆衛生大学院との交流

- ◆ Harvard School of Public Health*
- ◆ University of Hawaii Public Health Program*
- ◆ Taipei Medical University*
- ◆ University College of London
- ◆ London School of Hygiene & Tropical Medicine
- ◆ National Taiwan University College of Public Health

* 協定を締結済み。

東京大学公共健康医学専攻のHP (専攻HP) (同窓会HP)

東京大学 The University of Tokyo
医学系研究科 公共健康医学専攻 The School of Public Health

医学系研究科 公共健康医学専攻 SPH トップページ

最新 お知らせ 専攻の構成 授業科目紹介 授業時間割シラバス 入試情報

各年度試験状況 紹介パンフ資料 ファカルティ/スタッフ紹介 詳細点検報告書 問い合わせ/地図 お知らせ

東大SPH同窓会へリンク! == English Page ==

医学系研究科 公共健康医学専攻 SPH トップページ

最新

専攻の構成

授業科目紹介

授業時間割シラバス

入試情報

各年度試験状況

紹介パンフ資料

ファカルティ/スタッフ紹介

詳細点検報告書

問い合わせ/地図

お知らせ

東大SPH同窓会へリンク!

== English Page ==

最近のお知らせ

公共健康医学専攻の国際共同研究 2014年5月19日

東大SPH同窓会主催による第5回SPHサロンのご案内 2014年5月19日

平成26年度入学希望者向けガイダンス(6/14)のご案内 2014年5月19日

MPH学位授与式で28名が卒業 2014年3月26日

吉田新一教授、大塚雄雄教授の最終講義が行われました。 2014年3月22日

SPHフォーラム2014を開催します(3/24) 2014年2月8日

平成25年度基礎研究発表会を開催 2014年1月10日

川上嘉人教授、新井が平成25年度日本学術会議委員、専攻学長が研究奨励賞を受賞。 2013年11月10日

<SPH学生団体>ブレインネットワーク結成発表を開催しました。 2013年11月10日

<SPH学生団体>2013年度SPHキャリアデザイン懇話会を開催しました。 2013年11月10日

医学系研究科 公共健康医学専攻 SPHトップページ

公共健康医学専攻(SPH)のご紹介

東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻(専門職大学院)は、国際性・先進性・患者も育めた広範囲な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質(quality of life)の改善において、標準的な役割を果たす公衆衛生分野の高水準専門家を実現することを目的とする専門職大学院です。本専攻は平成19年度に新設されました。

学位：本専攻の修了者には、公衆衛生学修士(専門職)-英語名:Master of Public Health(MPH)-が授与されます。

カリキュラム：医学、生物統計学、臨床疫学、保健医療経済学、医療コミュニケーション学、精神保健学、健康社会学、若年社会科学、医療倫理学、健康医療法学、医療情報システム学、法医学・医学法学、医療安全管理学、健康危機管理学、環境健康医学などから構成され、この中から必修科目及び選択科目合計で30単位以上修得することで、公衆衛生学修士(専門職)の学位を取得することができます。

卒業の場：修了者の卒業の場として、行政機関や企業・団体で保健医療行政・健康管理などに携わる公衆衛生専門家、EMMや臨床試験などを担う臨床疫学・医療経済学専攻門外、保健医療分野の質の評価やアドボカシーなどに携わる保健医療アナリスト・コーディネーター、医療機関や健康保険団体の管理運営などに携わる医療経営・臨床工学システム管理者などが想定されます。

臨床経験2年以上(臨床研修を含む)ある医師の方へ、1年修得してMaster of Public Health (MPH)の取得に挑戦しませんか。

Public Health Researcher in Asia 2014

東大SPH同窓会主催による第5回SPHサロンのご案内

平成26年度入学希望者向けガイダンス(6/14)のご案内

MPH学位授与式で28名が卒業

吉田新一教授、大塚雄雄教授の最終講義が行われました。

SPHフォーラム2014を開催します

平成25年度基礎研究発表会を開催

川上嘉人教授、新井が平成25年度日本学術会議委員、専攻学長が研究奨励賞を受賞。

<SPH学生団体>ブレインネットワーク結成発表を開催しました。

<SPH学生団体>2013年度SPHキャリアデザイン懇話会を開催しました。

公共健康医学専攻の国際共同研究

平成26年度入学希望者向けガイダンス(6/14)のご案内

MPH学位授与式で28名が卒業

School of Public Health
東京大学SPH同窓会

東大SPHとは 東大SPH同窓会について 同窓会サロン 会員向け 最新情報

6期(2年コース)、7期(1年コース)の計28名が公衆衛生学修士(専門職)を取得しました。

On 2014年4月30日, In 事務局からのお知らせ, by TsuchiyaRumiko

2014年3月24日、平成25年度学位授与式が有明コロシアムで行われ、6期生(2年コース)、7期生(1年コース)の合計28名が公衆衛生学修士(専門職)を取得し、晴れてMPHの仲間となりました。学位授与式では代表者が濱田純一総長から学位記を受けました。

東京大学学位記授与式

0 コメント

コメントをどうぞ

SPHサロン・同窓会総会を開催しました

On 2013年10月28日, In イベント, 会員向けのお知らせ, by rwatanabe

東大SPH同窓会は、2013年10月19日(土)に第7回総会を開催致しました。総会にご出席くださいました皆様、また委任状をご提出くださいました皆様、誠にありがとうございました。同窓会会員の方は、こちらから総会の詳細についてご確認ください(会員のみ、要パスワード)。

入試試験科目の追加について(平成26年度～)

- 専門科目「統計学一般」を新設
- 統計学についての基礎的な問題(択一式20問)
- 統計検定(一般財団法人 統計質保証推進協会統計検定センター)2級相当の問題である。
- 電卓の使用を許可する。ただし電卓は大学側が準備するものを使用する。
- 以上は専攻HPでも周知。